

示現会熊本支部平成29年度下半期活動状況

7月25日（火）、26日（水）作品研修会

本部より先生をお招きし2日間の研修を実施しました。初日の午前に一人一人の作品を順次ご指導いただき、午後から制作をやりました。制作中に先生に巡回指導を頂き制作に熱が入りました。二日目は初日の続きでそれぞれに先生にお尋ねしたりして時のたつのも忘れ制作に没頭しました。二日間の研修会は和気あいあいとした中にも厳しい指導をいただき充実した有意義な研修会になりました。

遠いところ大変ありがとうございました。

(以下の写真は、本研修会のスナップ写真4枚)



9月3日(日)

1) 着衣人物による研修

午後1時より2時間(15分ポーズ、5分休憩の6回繰り返し)のモデルを使つての研修を行った。この日だけの固定ポーズであったので、デッサンやスケッチが多かった。モデルさんは5、6、7月の時と同じ女性だった。黒いワンピースであったので明暗が見づらいとの意見も出ていた。短時間であり、得心の行くまで仕上げるのは困難だった。支部長はスケッチブックに油彩で顔面を描いておられた。



(研修風景、指導中の支部長)



(この日のパステル・木炭デッサンの1例)

2) 第71回示現会展出品作下見会(1回目)

小材支部長による作品指導。この時点で本展出品作品に取り掛かっている人は少ないのか、5、6人の熊本支部員が作品やエスキース等へのアドバイスを受けました。その中で、写真の引き写しは芸術作品たりえない、とのご意見がありました。安易に写真に頼ると結局行き詰ってしまう。絵描きとして尊敬されない。誠にその通りだと痛切に感じます。

10月15日（日）、南阿蘇スケッチ

早朝から激しい雨が降り続き、今年は戸外の研修が中止となりました。

11月12日（日）、第71回示現会展出品作下見会（2回目）

この日は所属支部員の三分一の人が、小材支部長の指導を受けました。各人が選択した主題を尊重しつつ、その中で細部における間違いを正していく、不自然に感じられないように表現するかではないでしょうか。「細部に神宿る」とはよく言われることです。

12月10日（日）、第71回示現会展出品作下見会（3回目）

平成29年の最後の研修会となりました。この日は研修参加の支部員も三分の二以上と多く、小材支部長からも懇切丁寧な助言を頂きました。支部員としては作画の方向性が定まり、本格的に制作に入れる状況となりました。



（研修風景1）



(研修風景2)

以上

お知らせ

2018年(平成30年)5月22日(火)～5月27日(日)、熊本県立美術館分館にて第71回示現会熊本展・第5回示現会熊本支部公募展を開催いたします。

示現会熊本支部公募展は4月29日(日)午前が搬入日時です。搬入場所は分館搬入口、作品の大きさはF10～F30(但しSの場合20号まで)で2点出品できます。奮ってご応募願います。